

# 銅・アルミ

## 市況見通し

### 2月

銅

昨年12月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月比で6・3%減の5万2770ト。14品目は同0・5%減の5万3100トで、うち国内が同3・8%増、輸出が同68・7%減だった。

#### 銅スクラップ景況予想

12月の銅電線出荷量は同0・5%減の5万3100トで、うち国内が同3・8%増、輸出が同68・7%減だった。1月の電気銅建値は月初の125万円が月末には130万円になった。1月の電気銅建値は

た。流通(一次問屋)における1月の在庫は、伸銅品の生産減・発生減により品薄となった。需要面は回復基調だったが、今後は自動車生産販売でダイハツ・トヨタ問題の影響が長引くと思われる。民生用途も中国を中心に需要の回復が遅れている。中国への輸出は今後、景気後退から減少傾向が見込まれる。

12月のアルミニウム二次合金・同合金地金生産は同1・0%増の6万1151ト(1カト)。輸出はアルミ新地金が同22・8%減の7万7221ト、アルミニ次合金が2・7%増の8万7742ト、アルミスクラップが同26・2%減の594ト、アルミ合金スクラップが同27%増の8727トだった。

# 橋本アルミ取締役

## 橋本 健一郎氏レポート



銅輸出は、電気銅が同5・6%減の4万7539ト、銅スクラップが同45%増の4万562ト。銅輸入は、電気銅が同21・4%減の22ト、銅スクラップが同25・1%減の7986トだった。

#### 2月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	8000~8500 <sup>F</sup> <sub>L</sub>	横ばい
電気銅建値	120~132万円	横ばい
為替(1 <sup>F</sup> <sub>L</sub> )	145~150円 (1カ月間TTM)	レンジ内

#### LME銅・為替予想

今月は「米・FRB

#### アルミ

このことから、景気後退は避けられないと見込んでいる。

#### アルミスクラップ景況予想

LME価格は前月に引き続き2300<sup>F</sup><sub>L</sub>から2200<sup>F</sup><sub>L</sub>台へと下落傾向だった。ダイハツ・トヨタ問題で売れず、流通(一次問屋)の在庫は多い。

#### 2月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	2100~2200 <sup>F</sup> <sub>L</sub> (現物後場買い)	横ばい
スクラップ	マイナス5~10円 (前月最終価格より)	弱い

需要面は、ダイハツ・トヨタ問題や、中国の景気後退から需給が緩んでいる。

(連邦準備制度理事会)の金融政策「中国の景気」に左右される。「米・FRBの金融政策」では、3月のFOMC(連邦公開市場委員会)に向けて、マーケットは利下げ期待が台頭している。ただ、米株式が最高値を更新していること、パウエル議長が3月の利下げ

昨年12月のアルミ庄延品生産量(板類・押出類合計)は同4・4%減の13万7054トで21カ月連続のマイナスだった。生産量は板類が同4%減の8万4015ト、押出類が同4・9%減の5万3039ト